

羅針盤



2019年3月13日(水) 第77号

「大きな山を登った後にだけ、人はさらに登るべきたくさん山があることを見出す。」

(ネルソン・マンデラ (元南アフリカ大統領、ノーベル平和賞受賞(1993)、1918～2013))

過去を胸に刻み、未来を展望する

3月、胸に刻むべき過去があります。1つは3・11ですが、もう一つは何かわかりますか？ 1945年3月10日未明から、300機を超える爆撃機が東京に焼夷弾(しょういだん)を投下しました。いわゆる東京大空襲です。10万人を超える市民が焼死したと言われています(推計)。13日には大阪市、17日には神戸市、19日には名古屋市が大規模な空襲を受けました。4月12日には郡山市でも空襲があったことは、昨年4月13日の『羅針盤』で書きましたね。そして広島や長崎への原爆投下と続き、兵士ではない多くの一般市民の命が奪われたのです。「机上の勉強だけでなく、自分の目で見たり、自ら体験する学びが大切」と言われることがあります。戦争についての学びは、体験を通じてなされるべき課題ではありません。

昨年12月に天皇誕生日を前に記者会見に臨まれた天皇陛下の言葉を紹介します。「現在のご心境とともに、いま国民に伝えたいことをお聞かせ下さい」という記者の質問に答えた言葉の一部です。

平成の時代に入り、戦後50年、60年、70年の節目の年を迎えました。先の大戦で多くの人命が失われ、また、我が国の戦後の平和と繁栄が、このような多くの犠牲と国民のたゆみない努力によって築かれたものであることを忘れず、戦後生まれの人々にもこのことを正しく伝えていくことが大切であると思ってきました。平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています。

まもなく年号が変わりますが、次の時代も戦争のない時代であってほしいし、しなければいけないと思います。

そして3・11の東日本大震災、福島にあっては東京電力の原子力発電所事故。11日(月)には、皆さんもどこかで黙とうを捧げたものと思います。福島は3つの災害に苦しんでいると言われることがあります。地震・津波の震災、原発災害(放射能被害)、風評被害の3つです。福島で生活し、学んでいる17期生諸君には、福島の情報をつかみ、現実を見つめ、考えるべき課題を把握し、何を発信し伝えていくかを考えてほしいと思います。

新聞委員会がつくった『安積黎明高校新聞』(3/1、第222号)は震災特集でした。そこに「滋賀県立彦根高校新聞部では、震災が発生した平成23年から現在まで『福島をつなぐ』といく特集が組まれている」という記事がありました。県内各地に取材に訪れているそうです。京都の立命館宇治高校なども福島を訪れ、伝える活動に取り組んでいます。他県の高校生の方が福島の現状を知り、考えているという実態があるかもしれません。それで良いのだろうか？ 17期生の皆さんは、いかがですか？ 福島について語る言葉を持ちたいものです、私たち教職員も含めて。

ある女子高校生の文章を紹介します。強烈な体験、複雑な思いが伝わってきます。

みなさんはボランティアをしたことがありますか。私はしたことがありません。受けたことはあります。私の経験を話しましょう。

体育館で寝起きしていた東日本大震災から数日後のことでした。毎朝配られる中身が少ないパンから逃げるように布団にくるまっている私のところへ、数人のジャージを着た、たぶん高校生がやってきました。どうやらボランティアのようで、避難している子どもの遊び相手として体育館の中を回っているとのことでした。私は最初、なんで知らない人と遊ばなきゃならないの、と思いを横に振りました。しかし、母から遊んできなさいと言われ、しびしび体育館入り口付近の簡素な机があるエリアに行きました。何をすると聞けば、画用紙を数枚合わせた上に折り紙などで建物を作り、自分たちの望む町を作るそうで、私は一気にワクワクしました。他の子どももいたので作業は早く進んでいきました。その時、母と母の姉といとこが買い物に行かないかと誘ってきたので、私は名残惜しくも紙を置き、彼らに完成を頼みました。

久しぶりの外は、とても気持ちの良いものでした。坂道をスキップして下り、今度はいとこと競争して下り、そうして買い物を終わらせ体育館に戻ってきました。私はさっそく「町」を作っている場所へ行ってみると、すでに完成していました。右側には海があり、中央には高い塔、その周りにはたくさんの背の高いビルと家で埋め尽くされていました。何だ、これは……。私の心を満たしたのは間違いなく不快感でした。どうしたら、こんな完成になるの。どうして……。私の頭は思考停止しました。彼らから「どう？」と聞かれても、「ここら辺、倒れたら危ない……」の後、何も言葉をつなげられませんでした。その日から、私は2度とあの遊ぶエリアに行くことはありませんでした。

地震が与えた恐怖は、小3の私を蝕んでいたようで、あの「町」の海を見た時テレビに延々と流れていたドロドロの津波を思い出し、高い塔を見た時は学校の校舎が崩れるんじゃないか、逃

げられないんじゃないかという恐怖を思い出しました。皆さんは、この恐怖を知ったとしても分かることはないでしょう。彼らが作った「町」は、「私が求めている町」ではなく、「彼らが求めている町」でした。都会の、海が見える町。さぞかしきれいでしょうね。少しでも心が楽になればと期待して参加しましたが、最終的には地震で傷ついた気持ちを踏み荒らされただけでした。

3月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
13日	水	午前中45分授業(Ⅱ期入試事務)	国・数・英、Ⅱ期入試期間中の課題	総合
14日	木	自宅学習(合格発表)		
15日	金	40分授業日	英語課題提出	英語
16日	土			
17日	日			
18日	月		国・数課題提出	数学
19日	火			英語
20日	水	午前中4校時・全校集会、教科書販売		国語
21日	木	春分の日		
22日	金	春期課外①		
23日	土	春期課外②		
24日	日			
25日	月			
26日	火			
27日	水	新入生オリエンテーション①		
28日	木	新入生オリエンテーション②		
29日	金	離任式		
30日	土			